

第6回

がんと代謝 研究会

in 奄美大島

2018年5月10日(木)・11日(金)

会 場 奄美観光ホテル(鹿児島県)

〒894-0026 鹿児島県奄美市名瀬港町2-10 TEL:0997-52-2221

実行委員長 森 正樹

大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学 教授

第6回がんと代謝研究会事務局 大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2、E2 Tel:06-6879-3251 Fax:06-6879-3259

E-mail:cancermetabo@cfs.med.osaka-u.ac.jp



第
6
回

がんと代謝 研究会 in 奄美大島

会 期

2018 年 5 月

会 場

10 日 (木) ▶ 11 日 (金)

奄美観光ホテル

〒894-0026 鹿児島県奄美市名瀬港町 2-10 TEL: 0997-52-2221

森

実 行
委員 長

大阪大学大学院 医学系研究科 消化器外科学 教授)

■事 務 局 : 大阪大学大学院 医学系研究科 消化器外科学

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2、E2

TEL : 06-6879-3251 / FAX : 06-6879-3259

E-mail : cancermetabo@cfs.med.osaka-u.ac.jp

目 次

ごあいさつ	1
開催概要	2
会場へのアクセス	3
口頭発表者へのご案内	6
プログラム	9
ポスターインデックス	15

ごあいさつ

第6回がんと代謝研究会の開催にあたって

このたび、第6回がんと代謝研究会を平成30年5月10日から11日までの日程で鹿児島県奄美市奄美観光ホテルにて開催させていただき光栄に感謝申し上げます。

がんと代謝研究会は平成25年に慶応大学の曾我朋義教授が実行委員長として第1回研究会を開催して以来、今回で6回目を数えます。日本のがんの研究に関わる有志から開始された研究会として例年、わが国を代表するがん研究のエキスパートだけではなくがんの臨床に携わる医師、臨床検査技師、パラメディカルも参加して、多様な発展を遂げているフレキシビリティの高い研究会であります。研究会名に冠している如くに、がんまたは代謝に関わる情報交換の場ということで、最新の検査、計測、解析の技術だけでなく、新型デバイスや分子プローブを用いたがんの診断やコンパニオン診断薬、さらには現場から得られたビッグデータを解析して新しいソリューションを出すなどのこれまでにない新しい情報共有のあり方を模索している集会であります。このようにわが国のコアとなる人材の集会でありながら、柔軟性を担保した発展を続けるために学会の体裁は取らずに研究会として自由闊達に集う場としております。

このたび大阪大学大学院医学系研究科消化器外科が主催することになりましたので、クリニカルサイドからの新しいネットワークを創り上げて、特に外科診療の観点から、基礎研究をoutside-inして学問の新しい起爆剤としてがんと代謝の研究を大きく進化させたいと考えております。

これまでにない新しい形での情報交換と企業活動の影響力、そして産学共創の新展開が期待できる会合にしたいと考えております。その意味では、奄美大島での開催は、従来の大型学会では実現することができない出会いが南国の島で実現できるものと期待しております。南国奄美大島の5月の平均気温は22.7であり1年の中でも大変過ごしやすい季節です。エメラルドグリーン
の海など癒しの奄美大島で心と体を浄化して頂き、良き思い出とともに明日への活力を養って頂きたいと思っております。教室員一同、皆様のご参加を心からお待ち申し上げます。

第6回がんと代謝研究会

実行委員長 森正樹

大阪大学大学院 医学系研究科 消化器外科 教授

開催概要

- 会 期：2018年(平成30年)5月10日(木)・11日(金)
- 会 場：奄美観光ホテル
(〒894-0026 鹿児島県奄美市名瀬港町2-10 TEL: 0997-52-2221)

- 実行委員長：森 正樹(大阪大学大学院 医学系研究科 消化器外科学 教授)

- 事務局：大阪大学大学院 医学系研究科 消化器外科学
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2、E2
TEL: 06-6879-3251 / FAX: 06-6879-3259
E-mail: cancermetabo@cfs.med.osaka-u.ac.jp

- 参加費：一般 6,000円 (事前参加登録 5000円)
学生 2,000円
※学生については、学生証の提示が必要です。

- 懇親会：日時：2018年5月10日(木) 19時～ (希望者のみ)
場所：山羊島ホテル <http://yagijima.com/>
〒894-0001 鹿児島県奄美市名瀬大熊字鳩 1382-1
参加費：一般 5,000円
学生 無料
※学生については、学生証の提示が必要です。

- 実行委員会
曾我 朋 義 (慶應義塾大学) 高橋 智 聡 (金沢大学)
江角 浩 安 (東京理科大学) 田久保 圭 誉 (国立国際医療研究センター)
平尾 敦 (金沢大学) 田 沼 延 公 (宮城県立がんセンター)
岡本 康 司 (国立がん研究センター) 中 釜 齊 (国立がん研究センター)
落合 淳 志 (国立がん研究センター) 本 橋 ほづみ (東北大学)
北林 一 生 (国立がん研究センター) 南 嶋 洋 司 (九州大学)
小松 雅 明 (新潟大学) 藤 田 恭 之 (北海道大学)
佐谷 秀 行 (慶應義塾大学) 古 川 龍 彦 (鹿児島大学)
末松 誠 (日本医療研究開発機構) 後 藤 典 子 (金沢大学)
石井 秀 始 (大阪大学)

- 現地実行委員 (大阪大学)
松 田 宙 (消化器外科)
水 島 恒 和 (消化器外科)
今 野 雅 允 (先進薬物療法開発学)

会場へのアクセス

第6回がんと代謝研究会

会場のご案内：奄美観光ホテル
〒894-0026鹿児島県奄美市名瀬港町2-10 TEL:0997-52-2221



第6回がんと代謝研究会

- 各空港から奄美空港までの交通手段（飛行機）

羽田	⇄直行便	奄美大島
伊丹		
福岡		

新千歳	⇄経由	鹿児島	⇄直行便	奄美大島
仙台				
羽田				
中部				
伊丹				
福岡				

- 奄美空港到着口マップ



- 交通（バス）のご案内

奄美空港⇄鳩浜入口バス停⇄港町奄観前
※鳩浜入口バス停：山羊島ホテルバス停
港町奄観前：奄美観光ホテル（会場）

奄美空港	鳩浜入口	港町奄観前
8:47	9:30	9:40
9:45	10:30	10:40
10:15	11:00	11:10
11:15	12:00	12:10
11:45	12:30	12:40
12:45	13:30	13:40
13:15	14:00	14:10
14:15	14:00	15:10
14:45	15:30	15:40
15:15	16:00	16:10
16:15	17:00	17:10
17:15	18:00	18:10
17:45	18:30	18:40
18:17	19:00	19:10
18:47	19:30	19:40

港町奄観前	鳩浜入口	奄美空港
7:28	7:31	8:15
7:58	8:01	8:45
8:58	9:01	9:47
9:28	9:31	10:17
9:58	10:01	10:47
10:58	11:01	11:47
11:28	11:31	12:17
12:28	12:31	13:17
12:58	13:01	13:47
13:58	14:01	14:47
14:28	14:31	15:17
15:28	15:31	16:17
15:58	16:01	16:47
16:58	17:01	17:47
17:18	17:31	18:05

会場へのアクセス

第6回がんと代謝研究会

飛行機

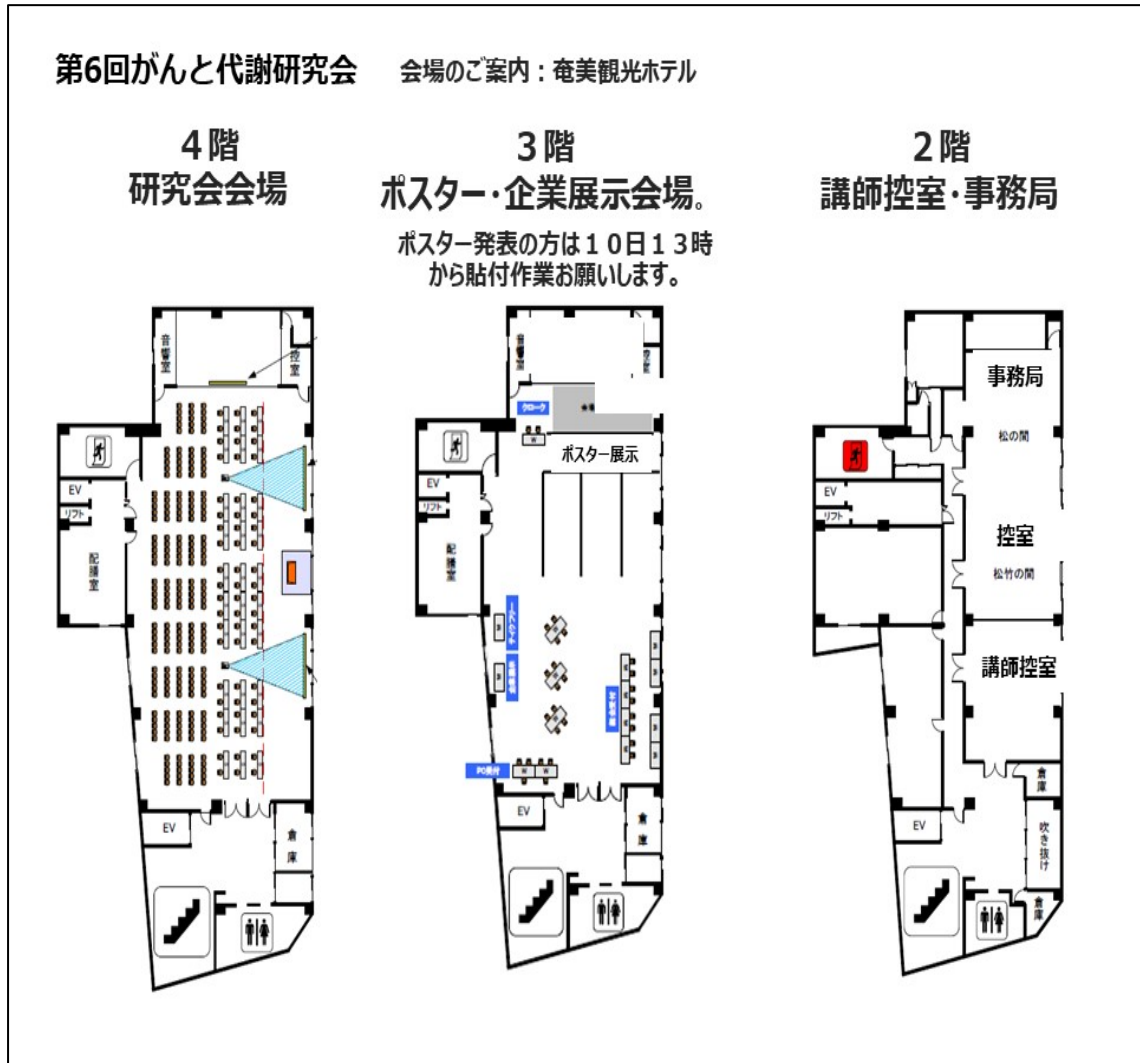
●奄美空港出発便

奄美空港出発便				
便名	到着地	便出発	便到着	備考
3722	鹿児島	08:45	09:35	
3841	徳之島	09:10	09:45	
3724	鹿児島	09:35	10:30	5/1~5/6運航
3724	鹿児島	09:45	10:45	5/7~5/31運航
3831	喜界島	11:05	11:25	
3726	鹿児島	11:40	12:30	
2464	伊丹	12:05	13:30	
3833	喜界島	12:10	12:25	
3851	沖永良部	13:05	13:45	月・水・金・日曜運航
3861	与論	13:05	13:50	火・木・土曜運航
3728	鹿児島	13:15	14:10	5/7~5/31運航
3729	鹿児島	14:40	15:35	5/1~5/6運航
0854	沖縄	14:15	15:20	
0824	成田	14:20	16:30	
0658	羽田	15:5	17:05	
3730	鹿児島	15:30	16:20	
0874	関西	15:50	17:15	
3843	徳之島	16:00	16:35	
3732	鹿児島	16:05	17:00	5/7~5/31運航
3835	喜界島	16:15	16:35	
3992	鹿児島	16:45	17:45	5/2~5/6運航
3736	鹿児島	17:55	19:05	
3684	福岡	18:45	20:00	
3738	鹿児島	19:00	19:55	

●奄美空港到着便

奄美空港到着便				
便名	出発地	便出発	便到着	備考
3681	福岡	07:05	08:15	
3721	鹿児島	07:25	08:45	
3729	鹿児島	08:05	09:10	5/1~5/6運航
3723	鹿児島	08:00	09:15	5/7~5/31運航
3991	鹿児島	09:05	10:20	5/1~5/6運航
3842	徳之島	10:10	10:40	
3830	喜界島	10:35	10:55	
3727	鹿児島	10:10	11:05	
2465	伊丹	09:30	11:10	
3832	喜界島	11:55	12:15	
3729	鹿児島	11:45	12:50	5/7~5/31運航
3729	鹿児島	13:10	14:15	5/1~5/6運航
0853	沖縄	12:50	13:50	
0823	成田	11:00	13:40	
0659	羽田	12:10	14:25	
3731	鹿児島	13:55	14:50	5/7~5/31運航
3731	鹿児島	14:00	14:55	5/1~5/6運航
0873	関西	13:25	15:10	
3834	喜界島	15:10	15:30	
3733	鹿児島	14:35	15:40	5/7~5/31運航
3862	与論	15:10	15:50	月・水・金・日曜運航
3850	沖永良部	15:10	15:45	火・木・土曜運航
3990	鹿児島	16:00	16:15	5/2~5/6運航
3844	徳之島	17:00	17:30	
3735	鹿児島	16:55	17:50	
3737	鹿児島	17:30	18:35	

会場ご案内



口頭発表者へのご案内

口頭発表者は会場で受付を行ってください。(7:30 より)

発表者は発表セッション開始までに発表者席に待機してください。

発表時間は、指定演題、公募演題ともに発表 25 分、質疑 5 分です。

なお、若手演題は発表 15 分、質疑 5 分です。

特別公演は、50 分間です。質疑等に関しては座長に一任します。

モーニングセッション、ランチョン、イブニングはそれぞれプログラムに従ってお願いします。

プログラムの時間割に従い、座長により進行されます。必ず時間内に終わるようにご準備ください。発表順、進行等はすべて座長の指示に従ってください。

すべて PC 発表(1 面映写)のみと致します。

なお、投影画面サイズは、XGA (1024×768 ドット) でご用意しています。

本会は PC 受付がございませんので、発表前に PC 担当者までお声掛け頂き動作確認のうえご発表お願いいたします。演者の台のうえに、発表用 PC がセットされていますので、操作は発表者ご自身で行ってください。

＝Windows 使用の先生方へ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

1) PC 本体を持参する場合

- ①事前に外部ディスプレイでの映写確認をお願いします。
- ②一部のノート型 PC に外部出力端子が独自の形状のものがありますので、ご確認のうえ、D-Sub Mini15 ピンへの変換コードを必ずご持参ください。

2) USB フラッシュメモリーを持参する場合

- ①各会場では、PowerPoint2007～2013 がインストールされた PC のみ用意しています。
- ②データ持込の場合は、作成に使用した PC 以外の PC で事前に作動チェックすることを強く推奨します。
- ③ファイル名は「演題番号(半角)演者名(漢字).ppt(または.pptx)」としてください。
- ④メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルスチェックソフトでスキャンを行ってください。
- ⑤持込素材は、下記に限定します。
 - ・USB メモリー
 - ・動画ファイルの最大ファイルサイズ 10MB
プレゼンテーションに他のデータ(動画等)もリンクされている場合は、必ず元のデータも同じフォルダに保存していただき、先に示した PC にて事前に動作確認をお願いします。また、高画質、圧縮データの動画を使用する先生は、バックアップとしてご自身の PC 本体のご持参をお勧めします。
- ⑥PC 内にコピーした発表データは、発表終了後事務局で責任をもって削除します。

＝Macintosh 使用の先生方へ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

原則として PC 本体をご持参ください。

USB フラッシュメモリーでの持込はできません。

- ①事前に外部ディスプレイでの映写確認をお願いします。
- ②変換コード、電源接続コードを必ずご持参ください。

＝座長の先生方へのお願い＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

ご担当セッションの開始5分前までに必ず会場右手前方の座長席にお着きください。
ご担当セッションは時間厳守にてお願いいたします。

ポスター発表者へのご案内

ポスター発表には、縦 1800 mm×横 900 mm のパネルをご用意いたします。
パネルに貼付けされている番号をご確認のうえ、提示してください。

	掲示	撤去
5月10日(木)	13時から	(掲示のまま)
5月11日(金)	(掲示のまま)	17:00まで

撤去後のポスターはお持ち帰りをお願いします。

＝ポスターセッション＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

5月10日(木) (自由にご討論ください)

5月11日(金) 10:30-12:00 (90分間) 奇数 10:30～11:15 偶数 11:15～12:00

- ・発表者は、ポスターセッションの開始時刻までにポスター前に待機してください。
- ・時間になりましたら演題番号が奇数の方からご発表を開始してください。奇数の方の発表時間が終わりましたら、続いて偶数の方より発表をお願いします。
- ・発表時間は、指定の発表時間内に終わるよう調整してください。
- ・座長による進行はありません。

＝優秀ポスター発表賞＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

実行委員会の厳正な審査によって、優秀な発表者に対して優秀ポスター発表賞を授与いたします。

プログラム

第1日目 5月10日(木)

8:00-8:45 モーニングセッション1

司会：鹿児島大学大学院腫瘍学講座 消化器・乳腺甲状腺外科学 夏越 祥次
「膠原病の症状を呈した癌症例」

福岡大学医学部腎臓・膠原病内科学 中島 衡
(共催：ミヤリサン製薬株式会社)

8:45-8:50 開会の挨拶

大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学 森 正樹

8:50-10:20 セッション1 がん代謝制御機構

座長：慶應義塾大学先端生命科学研究so メタボローム研究グループ 曾我 朋義
宮城県立がんセンター研究所 がん薬物療法研究部 田沼 延公

1-1 「Coordinated GTP Metabolism for Nucleolar Transcription in Glioblastoma and Beyond」

University of Cincinnati, College of Medicine 佐々木 敦朗

1-2 「オンコメタボライト L-2HG による新規がん生存シグナル」

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科、慶應義塾大学先端生命科学研究so 田畑 祥

1-3 「O-結合型糖鎖修飾によるがん細胞のプロテアソーム阻害剤の分子機構」

東北大学加齢医学研究所 遺伝子発現制御分野 関根 弘樹

10:20-10:35 コーヒーブレイク

10:35-11:35 セッション2 がん微少環境

座長：国立がん研究センター研究所 腫瘍生物学分野 荒川 博文

新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子生物学野 小松 雅明

2-1 「オートファジーとは異なるミトコンドリア分解メカニズムとそのがん抑制作用について」

国立がん研究センター研究所 腫瘍生物学分野 荒川 博文

2-2 「Autophagy regulates lipid metabolism」

新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子生物学分野 小松 雅明

11:35-12:20 ランチョン1

司会：大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学 土岐 祐一郎

「胃がん治療における栄養サポートの重要性～生存率向上を目指して

～」

市立豊中病院 外科 今村 博司

(共催：大鵬薬品工業株式会社)

12:20-13:50 セッション3 腸内細菌、免疫

座長：九州大学生体防御医学研究所 細胞機能制御学部門分子医科学分野 南嶋 洋司

大阪市立大学大学院医学研究科病態生理学、東京理科大学理工学部応用生物科学科 大谷 直子

3-1 「肥満関連肝がんの微小環境における IL-33 の活性化機構と役割」

大阪市立大学大学院医学研究科病態生理学、東京理科大学理工学部応用生物科学科 蒲池 史卓

3-2 「腸管 IgA 抗体による腸内細菌制御機構の解明と応用」

東京大学 定量生命科学研究所 免疫・感染制御研究分野 新藏 礼子

3-3 「低分化胃癌の免疫レパトア解析により 主要液性がん抗原として 同定された硫酸化糖鎖」

東京医科歯科大学 難治疾患研究所 ゲノム病理学分野 石川 俊平

13:50-14:05 コーヒーブレイク

14:05-15:05 セッション4 公募

座長：北海道大学遺伝子病制御研究所 分子腫瘍分野 藤田 恭之

鹿児島大学大学院・医歯学総合研究科 分子腫瘍学分野 古川 龍彦

4-1 「グルタミン代謝に関わる Sirt4 の大腸癌における機能解析」

大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学 柳澤 公紀

4-2 「アミノ酸代謝リプログラミングによるがん進行の制御」

ジョージア大学・生化学分子生物学分野、国立がん研究センター・造血器腫瘍研究分野 服部 鮎奈

15:05-16:05 セッション5 若手セッション

座長：東京大学 先端科学技術研究センター ニュートリオミクス・腫瘍学分野 大澤 毅

：大阪大学大学院医学系研究科 先進癌薬物療法開発学 今野 雅允

5-1 「がん悪液質の病態生理解明を目指した研究」

愛知県がんセンター研究所分子病態学部 小島 康

5-2 「抗酸化ストレス応答はメトホルミンによる抗腫瘍効果を誘導する」

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 免疫学 西田 充香子

5-3 「飽和脂肪酸による骨髄系細胞分化制御とがん退縮効果」

大阪大学大学院薬学系研究科分子生物学、ワクチン・免疫制御学、大阪大学国際医工情報センター 立花 雅史

16:05-16:55 特別講演

座長：東京大学 先端科学技術研究センター 代謝医学分野

東北大学 大学院医学系研究科 細胞生物学講座 分子生理学分野 酒井 寿郎

「脂肪細胞の代謝と制御機構」

カリフォルニア大学サンフランシスコ校 (UCSF)

UCSF Diabetes Center, Eli and Edythe Broad Center of Regeneration

Medicine and Stem Cell Research, Department of Cell and Tissue Biology 梶村 真

吾

16:55-17:40 イブニング

司会：大阪市立十三市民病院 西口 幸雄

「がん患者の栄養管理」

大阪大学国際医工情報センター、栄養デバイス未来医工学共同研究部門 井上 善文

(共催：コヴィディエンジャパン株式会社)

第2日目 5月11日(金)

8:00-8:45 モーニングセッション2

司会：慶應義塾大学先端生命科学研究所 メタボローム研究グループ 曾我 朋義
「血管内皮幹細胞による血管の維持と腫瘍血管形成における意義」

大阪大学 微生物病研究所 情報伝達分野 高倉 伸幸
(共催：中外製薬株式会社)

8:45-10:15 セッション6 エピゲノム

座長：金沢大学がん進展制御研究所 遺伝子・染色体構築研究分野 平尾 敦
金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍分子生物学研究分野 高橋 智聡

6-1 「S-アデノシルメチオニン産地消機構とその細胞増殖における意義」

東北大学大学院医学系研究科生物化学分野 五十嵐 和彦

6-2 「代謝による多能性幹細胞の分化制御」

東京工業大学 生命理工学院 糸 昭苑

6-3 「変異型 IDH1 を標的とした新規がん治療法の開発」

国立がん研究センター研究所・造血器腫瘍研究分野 北林 一生

10:15-10:30 コーヒーブレイク

10:30-12:00 ポスター

12:00-12:45 ランション2

司会：大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学 松田 宙
「肥満・糖尿病に対する外科治療」

四谷メディカルキューブ 減量・糖尿病外科センター 笠間 和典
(共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社)

12:45-13:45 セッション7 がん幹細胞

座長：国立国際医療研究センター研究所 生体恒常性プロジェクト 田久保 圭誉
国立がん研究センター 造血器腫瘍研究分野 北林 一生

7-1 「ヒト白血病幹細胞における幹細胞性維持機構としての分枝鎖アミノ酸経路の同定」

九州大学医学研究院 病態修復内科、九州大学医学研究院 応用病態修復学 菊繁 吉謙

7-2 「骨髄メタボローム解析に基づく造血幹細胞ニッチのエイジング機構の解析」

国立国際医療研究センター研究所 生体恒常性プロジェクト 田久保 圭誉

13:45-14:15 コーヒーブレイク

14:15-15:45 セッション8 代謝創薬、診断

座長：東京大学大学院薬学系研究科 薬品代謝化学 浦野 泰照

国立がん研究センター 先端医療開発センター 落合 淳志

8-1 「肝胆膵領域における術中蛍光イメージングの応用」

がん研有明病院 消化器外科、東京大学大学院医学系研究科 肝胆膵外科 石沢 武彰

8-2 「血漿 apolipoprotein A2 2 量体 C 末端アミノ酸切断異常を用いた効率的な膵がん

検診法の開発とリスク層別化の可能性」

国立がん研究センター研究所早期診断バイオマーカー開発部門、AMED CREST 本田 一文

8-3 「合成生物学的アプローチによる疾患治療細胞のデザインと開発」

東京大学大学院医学系研究科 生体情報学分野、

ETH Zurich, Department of Biosystems Science and Engineering 小嶋 良

輔

15:45-16:05 ポスター賞発表、閉会の挨拶、次期実行委員長挨拶

ポスターインデックス

P-01 上皮細胞層の炎症様応答によるがん変異細胞の排除制御

佐藤 奈波^{1,2}、八子 優太^{1,2}、丸山 剛^{1,2}、藤田 恭之^{1,2}

¹北海道大学遺伝子病制御研究所分子腫瘍分野

²北海道大学大学院総合化学院 生物化学コース 分子医化学講座 分子腫瘍分野

P-02 がん細胞の生存に関わる新規のエピジェネティクス制御機構

原地 美緒、増井 憲太、柴田 亮行

東京女子医科大学 病理学第一講座

P-03 IFN- γ 刺激によるヒト乳がん細胞由来細胞外小胞内の代謝物量的変化と役割

田所 弘子¹、工藤 竜平²、平山 明由²、吉岡 祐亮¹、杉本 昌弘²、落谷 孝広¹

¹国立がん研究センター・研究所・分子細胞治療研究分野、²慶應義塾大学・先端生命科学研究所

P-04 StageIV消化器癌に対する集学治療における補助療法としての糖質制限食

村上 博史¹、渡部 まゆみ²、五十嵐 真由美²

¹保谷厚生病院 外科、²保谷厚生病院 栄養科

P-05 糖代謝酵素のスプライシング変化による認知症発症機構の解明

今野 雅允¹、浅井 歩^{1,2}、田沼 延公³、島 礼³、小関 準¹、佐藤 太郎²、
土岐 祐一郎³、森 正樹³、石井 秀始¹

¹大阪大学大学院医学系研究科先進薬物療法開発学、²大阪大学大学院医学系研究科 疾患ゲノムサイエンス学、³宮城県立がんセンター研究所がん薬物療法研究部、⁴大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学

P-06 Rac1-GEF 間相互作用阻害剤の *in silico* フラグメントマッピング法によるバーチャルスクリーニング

小澤 新一郎、北村 祐万、山乙 教之、中込 泉、吉田 智喜、広野 修一

北里大学薬学部

P-07 トランスクリプトーム解析による転写因子 NRF1 のがん細胞における機能解明

畠中 惇至¹、和久 剛²、渡辺 亮³、小林 聡^{1,2}

¹同志社大学大学院生命医科学研究科医生命システム専攻、

²同志社大学生命医科学部医生命システム学科、³京都大学 iPS 細胞研究所

P- 08 選択的オートファジーによる脂質代謝制御

齊藤 哲也¹、久万 亜紀子^{2,3}、杉浦 悠毅⁴、一村 義信¹、李 賢喆⁵、
鐘ヶ江 祐美^{6、7}、斎藤 泉⁷、Johan Auwerx⁸、末松 誠⁴、横溝 岳彦⁵、
曾我 朋義⁹、和栗 聡¹⁰、水島 昇²、小松 雅明¹

¹新潟大学生化学第一、²東京大学分子生物学、³大阪大学遺伝学、⁴慶應義塾大学医化学、
⁵順天堂大学生化学第一、⁶東京慈恵会医科大学、⁷東京大学医科学研究所、
⁸スイス連邦工科大学、⁹慶應義塾大学、¹⁰福島県立医科大学

P- 09 腫瘍増大に寄与するプロテオスタシス制御機構

和久 剛¹、小林 聡^{1,2}

¹同志社大学生命医科学部医生命システム学科、
²同志社大学大学院生命医科学研究科医生命システム専攻

P- 10 大腸癌幹細胞における Autophagy・Lysosome 活性の動態の解析と新規標的治療薬の開発

竹田 充伸¹、原口 直紹¹、高橋 秀和¹、三吉 範克¹、畑 泰司¹、松田 宙¹、水島 恒和¹、
山本浩文²、土岐祐一郎¹、森正樹¹

大阪大学大学院医学系研究科 ¹消化器外科学、²保健学専攻 分子病理学研究室

P- 11 高脂肪食下前立腺癌間質微小環境活性化と前立腺癌進展における MIC-1/GFRAL の役割

黄 明国、成田 伸太郎、井上 高光、羽瀨 友則

秋田大学大学院医学系研究科腎泌尿器科学

P- 12 Mint3 を標的としたがん治療の可能性

坂本 毅治¹、林 哲郎¹、福井 優也¹、鄭 裕花¹、村上 善則¹、清木 元治²

¹東京大学医科学研究所・人癌病因遺伝子分野、²金沢大学・医学系

P- 13 大腸癌肝転移例に対する術前化学療法臓器機能への臨床的検討

吉留 博之^{1,2}、小西 孝宜²、大塚 将之²

¹市立国保大網病院外科 ²千葉大学臓器制御外科

P- 14 Artificial Intelligence trained with the convolutional neural network predicts radiosensitivity by phase contrast microscopic images of mouse and human cancer cell lines.

Masayasu Toratani¹, Masamitsu Konno^{2, 3}, Ayumu Asai^{2, 3}, Jun Koseki², Koichi Kawamoto², Keisuke Tamari¹, Zhihao Li¹, Daisuke Sakai³, Toshihiro Kudo³, Taroh Satoh³, Katsutoshi Sato^{4, 5}, Daisuke Motooka⁶, Daisuke Okuzaki⁶, Yuichiro Doki⁷, Masaki Mori⁷, Kazuhiko Ogawa¹, and Hideshi Ishii^{2,3}

¹Department of Radiation Oncology, Graduate School of Medicine, Osaka University; ²Department of Disease Data Science, Graduate School of Medicine, Osaka University; ³Department of Frontier Science for Cancer and Chemotherapy, Graduate School of Medicine, Osaka University; ⁴Advanced Radiation Biology Research Program, Research Center for Charged Particle Therapy, National Institute of Radiological Sciences, QST; ⁵Department of Hematology and Medical Oncology, Icahn School of Medicine at Mount Sinai; ⁶Genome Information Research Center, Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University, Suita, Osaka 565-0871, Japan; ⁷Department of Gastroenterological Surgery, Graduate School of Medicine, Osaka University

P- 15 胃癌手術における手術侵襲と血中グルタミン濃度変動

林 勉¹、山本 浩史²、原 健太郎¹、刑部 弘哲¹、中園 真聡¹、長澤 伸介¹、熊頭 勇太¹、山田 貴允¹、青山 徹³、佐藤 勉³、大島 貴³、利野 靖³、益田 宗孝³、尾形 高士¹、吉川 貴己¹

¹神奈川県立がんセンター 消化器外科、²味の素株式会社 バイオ・ファイン研究所、³横浜市立大学外科治療学

P- 16 食道扁平上皮癌における3D organoid培養の意義

喜多 芳昭¹、貴島 孝¹、中川 裕²、盛 真一郎¹、田辺 寛¹、内門 泰斗¹、佐々木 健¹、尾本 至¹、有上 貴明¹、柳田 茂寛¹、松下 大輔¹、前村 公成¹、夏越 祥次¹

¹鹿児島大学大学院 腫瘍学 消化器・乳腺甲状腺外科、²Division of Gastroenterology, Department of Medicine, Abramson Cancer Center, Perelman School of Medicine

P- 17 直腸癌術前化学療法の治療効果判定におけるPET-CTの有用性の検討

野村 雅俊、高橋 秀和、三吉 範克、原口 直紹、畑 泰司、松田 宙、山本 浩文、水島 恒和、土岐 祐一郎、森 正樹

大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学

P- 18 Mass spectrometric analysis of 2-hydroxyglutarate in gliomas with the isocitrate

dehydrogenase-1 mutation

林 光博¹、大野 誠²、市村 幸一³、成田 善孝²、濱田 哲暢¹

¹国立がん研究センター研究所分子薬理研究分野、²国立がん研究センター中央病院脳脊髄腫瘍科、¹国立がん研究センター研究所脳腫瘍連携研究分野

- P- 19 多層オミックス解析による肺がん上皮間葉転換における新規代謝機構の探索**
中宿 文絵¹、田畑 祥^{1,2}、坂本 毅治³、平山 明由^{1,2}、山田 忠明⁴、衣斐 寛倫⁴、矢野 聖二⁴、富田 勝^{1,2}、曾我 朋義^{1,2}
¹慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科、²慶應義塾大学先端生命科学研究所、
³東京大学医科学研究所人癌病因遺伝子分野、⁴金沢大学がん進展制御研究所腫瘍内科
- P- 20 胆道癌における ACAT1 の発現とゲムシタピン耐性に関する検討**
植野 吾郎¹、岩上 佳史¹、江口 英利¹、山田 大作¹、浅岡 忠史¹、野田 剛広¹、川本 弘一¹、後藤 邦仁¹、小林 省吾¹、土岐 祐一郎¹、森 正樹¹
¹大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学
- P- 21 外部環境によるがん幹細胞様変化と抗生剤の有効性**
内海 健
九州大学 大学院医学研究院 臨床検査医学
- P- 22 ¹³C グルコースを使ったマウス個体での *in vivo* トレーサー解析**
田沼 延公¹、野村 美有樹¹、福原 達郎²、坂本 良美¹、島 礼¹、本橋 ほづみ³、紙 健次郎⁴
¹宮城がんセ研・がん薬物療法、²宮城がんセ病院・呼吸器内科、
³東北大加齢研・遺伝子発現制御、⁴ヒューマンメタボロームテクノロジーズ
- P- 23 小細胞肺がんにおける、Pkm1-Pkm2 活性型ヘテロ複合体の形成**
野村 美有樹¹、盛田 麻美^{1,2}、坂本 良美¹、島 礼¹、前門戸 任²、田沼 延公¹
¹宮城がんセ研・がん薬物療法、²宮城がんセ病院・呼吸器内科
- P- 24 ミトコンドリア代謝が関わる EMT 現象および放射線耐性獲得**
高岡 祐史¹、今野 雅允²、浅井 歩²、川本 弘一²、小関 準²、玉利 慶介¹、石井 秀始²
¹大阪大学大学院放射線治療学、²大阪大学大学院疾患データサイエンス学
- P- 25 大腸がんの細胞増殖を制御する β -catenin-NRF3-20S プロテアソーム経路**
小林 聡^{1,2}、青野 栞²、Chowdhury AM Masudul²、畠中 惇至²、筆宝 義隆³、和久 剛¹
¹同志社大学生命医科学部医生命システム学科、
²同志社大学大学院生命医科学研究科 医生命システム専攻、³千葉県がんセンター研究所

P- 26 膵がんの悪性化に関わるエピトランスクリプトーム制御

浅井 歩^{1,2}、今野 雅允^{1,2}、小関 準¹、佐藤 太郎²、後藤 典子⁴、土岐 祐一郎³、森 正樹³、石井 秀始^{1,2}

¹大阪大学大学院 疾患データサイエンス学、²大阪大学大学院 先進癌薬物療法開発学、
³金沢大学 がん進展制御研究所 分子病態研究分野、⁴大阪大学大学院 消化器外科

P- 27 腹膜傷害動物モデルにおける中皮細胞の上皮間葉転換 (EMT) とグルタミン代謝亢進

平原 一郎¹、草野 英二²、金 徳男¹、高井 真司¹

¹大阪医科大学大学院医学研究科創薬医学、²うつのみや病院

P- 28 肺小細胞がんにおいて薬剤耐性に関与するプリン代謝機構

丸山 亜美^{1,2}、梅村 茂樹³、牧野嶋 秀樹^{1,2}

¹公益財団法人庄内地域産業振興センター、²国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点、
³国立がん研究センター東病院

P- 29 Mieap を介した低酸素環境下 mitochondria 品質管理機構とその破綻による胃癌悪性度増強機序

奥山 桂一郎¹、北島 吉彦^{1,2}、田中 智和¹、能城 浩和¹

¹佐賀大学一般・消化器外科、²国立病院機構東佐賀病院 外科

P- 30 CD44/CD133-Positive Colorectal Cancer Stem Cells Are Sensitive to Trifluridine

常國 健太¹、今野 雅允²、小関 準³、浅井 歩³、土岐 祐一郎⁴、森 正樹⁴、石井 秀始³

¹大鵬薬品工業株式会社育薬研究所、²大阪大学大学院医学系研究科先進癌薬物療法開発学講座、
³大阪大学大学院医学系研究科疾患データサイエンス学共同研究講座、
⁴大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学

P- 31 新規トランスオミックス法を用いたがん幹細胞の DNA メチル化量及び転写量変化の相関解析

小関 準¹、今野 雅允²、浅井 歩^{1,2,3}、佐藤 太郎²、土岐 祐一郎³、森 正樹³、石井 秀始¹

¹大阪大学大学院 医学系研究科 疾患データサイエンス、²大阪大学大学院 医学系研究科 先進癌薬物療法開発学、
³大阪大学大学院 医学系研究科 消化器外科学

P- 32 AMBRA1 は TCR シグナル下流で生じる代謝リプログラミングと増殖制御に関与する

佐藤 健人¹、赤塚 尚子¹、増原 香織^{1,2}

¹東海大学医学部生体防御学、²東海大学医学部分子生命科学

P- 33 イメージング質量分析による組織内腫瘍の代謝可視化

杉浦 悠毅

慶應義塾大学医学部医化学教室

P- 34 肺癌の外科および生検検体を用いたメタボローム解析

渡辺 光¹、宇田川 響²、梅村 茂樹²、曾我 朋義³、牧野嶋 秀樹⁴

¹日本海総合病院呼吸器外科、²国立がん研究センター東病院呼吸器内科、
³慶應義塾大学先端生命科学研究所、⁴国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点

P- 35 葉酸代謝拮抗薬投与による悪性胸膜中皮腫における核酸代謝産物への影響

佐藤 雄三¹、松田 詩織¹、牧野嶋 秀樹^{1,2}

¹公益財団法人庄内地域産業振興センター、²国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点

P- 36 LAT1 阻害剤 JPH203 は、IGFBP-5 を介して、膀胱癌細胞の増殖、浸潤、遊走能を阻害する

坂本 信一¹、MAIHULAN MAIMAITI^{1,2}、今村 有佑¹、降幡 知己²、金井 好克³、安西 尚彦²、市川 智彦¹

¹千葉大学大学院医学研究院 泌尿器科学、
²千葉大学大学院医学研究院 薬理学、³大阪大学大学院医学系研究科生体システム薬理学

P- 37 乳がんにおける葉酸代謝酵素 MTHFD1L の役割

西村 建徳¹、Mengjiao Li²、西村 和記¹、佐藤 成樹³、後藤 典子¹

¹金沢大学がん進展制御研究所分子病態研究分野、²Fudan University Shanghai Cancer Center
³金沢大学医薬保健学域医学類

P- 38 癌間質トランスクリプトーム解析

西田 尚弘¹、工藤 敏啓²、坂井 大介²、水島 恒和³、佐藤 太郎²、石井 秀始⁴、土岐 祐一郎¹、森 正樹¹

¹大阪大学大学院 医学系研究科 消化器外科学、²大阪大学大学院 医学系研究科 先進癌薬物療法開発学³、大阪大学大学院 医学系研究科 炎症性腸疾患治療学、⁴大阪大学大学院 医学系研究科 疾患データサイエンス学

P- 39 (演題取り下げ)

P- 40 Polyamine Flux Suppresses Histone Lysine Demethylases and Enhances *IDI* Gene Expression in Cancer Stem Cells

玉利 慶介^{1,2,3}、今野 雅允²、浅井 歩³、小関 準³、小川 和彦¹、土岐 祐一郎⁴、森 正樹⁴、石井 秀始³

¹大阪大学大学院医学系研究科放射線治療学、²先進癌化学療法開発学、³疾患データサイエンス学、⁴消化器外科学

P- 41 造血幹細胞のがん化に関与するリボヌクレアーゼの同定

木戸屋 浩康¹、島村 徹平²、國崎 祐也³、村松 史隆¹、林 弓美子¹、高倉 伸幸¹

¹大阪大学微生物病研究所 情報伝達分野、²名古屋大学大学院医学系研究科 システム生物学分野、³九州大学医学研究院 がん幹細胞医学分野

P- 42 進行再発大腸癌に対する Capecitabine / irinotecan (CapIRI) plus bevacizumab (BEV) 療法における *UGT1A1* 遺伝子多型に関する検討 (CCOG-1201 試験より)

中山 吾郎、服部 憲史、佐藤 雄介、宇野 泰朗、田中 千恵、小林 大介、神田 光郎、山田 豪、小池 聖彦、藤原 道隆、小寺 泰弘

名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学

P- 43 ステアリン酸・パルミチン酸比は非 B 非 C 肝癌の ER ストレス関連アポトーシスを制御する

森田 剛文、柴崎 泰、坂口 孝宣、北嶋 諒、古橋 暁、木内 亮太、武田 真、平出 貴乗、菊池 寛利、竹内 裕也

浜松医科大学 外科学第二講座

P- 44 膵癌切除症例における Controlling Nutritional Status (CONUT) score の臨床的

意義

加藤 吉康¹、山田 豪²、高見 秀樹²、末永 雅也²、林 真路²、丹羽 由紀子²、服部 憲史²、神田 光郎²、岩田 直樹²、小林 大介²、田中 千恵²、中山 吾郎²、小池 聖彦²、藤原 道隆²、小寺 泰弘²

¹西尾市民病院外科、²名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学

P- 45 NAFLD を基礎肝疾患とした肝細胞癌の特徴

多田 和裕、太田 正之、岩下 幸雄、内田 博喜、嵯峨 邦裕、平下 禎二郎、遠藤 裕一、猪股 雅史

大分大学消化器・小児外科学講座

P- 46 がん幹細胞様細胞における CD44 isoforms 発現

恒富 亮一¹、西山 光郎¹、松隈 聡¹、鈴木伸明¹、武田 茂¹、山本 滋¹、吉野 茂文²、碓 彰一³、上野 富雄⁴、永野 浩昭¹

¹山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学、²山口大学医学部附属病院腫瘍センター、³山口大学医学部先端がん治療開発学、⁴川崎医科大学消化器外科

P- 47 食道癌において Na⁺/H⁺ exchanger 1 (NHE1)は腫瘍抑制に機能する

小西 智規、塩崎 敦、有吉 要輔、庄田 勝俊、有田 智洋、小菅 敏幸、小西 博貴、森村 玲、村山 康利、栗生 宜明、生駒 久視、窪田 健、中西 正芳、藤原 斉、岡本 和真、大辻 英吾

京都府立医科大学 外科学教室 消化器外科部門

P- 48 大腸癌の周囲間における miR-198 の低下と tenascin C 発現亢進を介した肝転移機構

菊池 寛利¹、村上 智洋¹、川田 三四郎¹、廣津 周¹、松本 知拓¹、尾崎 裕介¹、平松 良浩¹、神谷 欣志¹、森田 剛文¹、山本 真義¹、竹内 裕也¹

¹浜松医科大学医学部外科学第二講座

P- 49 胃癌・大腸癌における予後予測マーカーである癌特異的 Cysteine dioxygenase type 1 (CDO1) 遺伝子の DNA メチル化の臨床的意義

原田 宏輝^{1, 2}、山下 継史³、小寫 慶太^{1, 2}、横井 圭悟^{1, 4}、鷲尾 真理愛²、江間 玲²、三重野 浩朗²、森谷 宏光²、細田 桂²、渡邊 昌彦²

¹北里大学大学院医療系研究科、²北里大学一般外科学、³新世紀医療開発センター先端医療領域開発部門外科腫瘍学、⁴国立病院機構相模原病院外科

P- 50 大腸癌術後の炎症が再発に及ぼす影響の検討

松原 大樹、有田 智洋、中西 正芳、栗生 宜明、村山 康利、工藤 道弘、庄田 勝俊、小菅 敏幸、小西 博貴、森村 玲、塩崎 敦、生駒 久視、窪田 健、藤原 斉、岡本 和真、大辻 英吾

京都府立医科大学 消化器外科

P- 51 Inhibition of 15-PGDH causes Kras-driven tumor expansion through all-trans retinoic acid metabolism in the pancreas

Takatsugu Ishimoto^{1, 2}、Kota Arima^{1, 2}、Naoya Yoshida¹、Yoshifumi Baba¹、Yo-ichi Yamashita¹、Hideo Baba¹

Department of Gastroenterological Surgery, Graduate School of Medical Science, Kumamoto University¹, International Research Center of Medical Sciences (IRCMS), Kumamoto University²

- P- 52 腫瘍再発モデルにおける末梢血中の骨髓由来抑制細胞 (MDSC) の推移**
杉田 裕、山下 公大、田中 智子、福岡 英志、有本 聡、長谷川 寛、山本 将士、
金治 新悟、松田 佳子、松田 武、押切 太郎、角 泰雄、中村 哲、鈴木 知志、
掛地 吉弘
神戸大学大学院医学研究科外科学講座 食道胃腸外科学講座
- P- 53 びまん型胃がんの免疫ゲノム解析による腫瘍免疫システムの本態解析**
渥美 振一郎^{1,2}、加藤 洋人¹、河村 大輔¹、瀬戸 泰之²、石川 俊平¹
¹東京医科歯科大学難治疾患研究所ゲノム病理学分野、²東京大学大学院医学系研究科消化管外科学
- P- 54 Src 時空間的制御による上皮細胞層からの細胞逸脱の方向性決定**
梶原 健太郎¹、岡田 雅人¹
¹大阪大学 微生物病研究所 発癌制御研究分野
- P- 55 膵癌抑制型 Passenger-strand microRNA を用いた機能性 RNA ネットワークの探索**
伊地知 徹也¹、蔵原 弘¹、前村 公成¹、又木 雄弘¹、迫田 雅彦¹、飯野 聡¹、
川崎 洋太¹、橋口 真征¹、上野 真一²、新地 洋之³、夏越 祥次¹
¹鹿児島大学消化器・乳腺甲状腺外科、²鹿児島大学臨床腫瘍学、³鹿児島大学医学部保健学科
- P- 56 組換え型トロンボモジュリンが腹膜炎モデルマウス移植腫瘍の発育に及ぼす影響の検討**
天田 塩¹、福田 和正¹、熊谷 厚志²、川久保 博文¹、北川 雄光¹
¹慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科、²がん研有明病院 消化器センター 胃外科
- P- 57 食道癌手術における十二指腸瘻チューブ留置の有用性**
武田 重臣^{1,2}、小池 聖彦¹、園原 史訓¹、服部 憲史¹、高見 秀樹¹、末永 雅也¹、
丹羽 由紀子¹、岩田 直樹¹、神田 光郎¹、林 真路¹、田中 千恵¹、小林 大介¹、
山田 豪¹、中山 吾郎¹、藤原 道隆¹、小寺 泰弘¹
¹名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学、²西尾市民病院
- P- 58 食道癌における PD-L1 および IDO1 発現の網羅的解析**
馬場 祥史、清住 雄希、岡留 一雄、八木 泰祐、黒田 大介、澤山 浩、日吉 幸晴、
岩槻 政晃、宮本 裕士、吉田 直矢、馬場 秀夫
熊本大学大学院 消化器外科学

- P- 59 抗 LSR 抗体を用いた脂質取り込みの阻害を介した胃癌細胞の増殖阻害についての検討**
高橋 剛¹、菅生 貴仁^{1,2}、斎藤 百合奈¹、世良田 聡²、藤本 穰²、田中 晃司¹、
宮崎 安弘¹、牧野 知紀¹、黒川 幸典¹、中島 清一¹、山崎 誠¹、仲 哲治²、
森 正樹¹、土岐 祐一郎¹
¹大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学、²高知大学 免疫難病センター
- P- 60 ヒストン脱メチル化酵素 KDM5A と RB が制御する代謝分子の探索**
河野 晋¹、岡橋 伸幸²、松田 史生²、清水 浩²、高橋 智聡¹
¹金沢大学がん進展制御研究所腫瘍分子生物学、²大阪大学大学院情報科学研究科
- P- 61 胃癌におけるメトホルミンの抗腫瘍効果の解析**
関野 伸史¹、加野 将之¹、坂田 治人¹、村上 健太郎¹、豊住 武司¹、大塚 亮太¹、
横山 将也¹、白石 匡¹、岡田 晃一郎¹、松原 久裕¹
¹金沢大学がん進展制御研究所腫瘍分子生物学、²大阪大学大学院情報科学研究科
- P- 62 肝内胆管癌と鑑別が困難であった術後 13 年目の乳癌肝転移の一例**
福久 はるひ¹、迫田 雅彦¹、飯野 聡¹、川崎 洋太¹、又木 雄弘¹、東 美智代²、
上野 真一³、夏越 祥次¹
¹鹿児島大学大学院 消化器・乳腺甲状腺外科学、²鹿児島大学大学院 人体がん病理学、
³鹿児島大学大学院 臨床腫瘍学
- P- 63 難治性腹水を伴った巨大胃 GIST の一例**
保坂 優斗¹、石神 純也¹、柳田 茂寛¹、安留 龍太郎¹、恵 浩一¹、瀬戸山 徹郎¹、
有上 貴明²、夏越 祥次²
¹鹿児島大学大学院 消化器・乳腺甲状腺外科学、²鹿児島大学大学院 人体がん病理学、
³鹿児島大学大学院 臨床腫瘍学
- P- 64 放射線がもたらす腫瘍微小環境の変化の解析**
福岡 英志¹、山下 公大¹、中川 暁雄¹、長谷川 寛¹、松田 武¹、山本 将士¹、
金治 新悟¹、松田 佳子¹、押切 太郎¹、中村 哲¹、角 泰雄¹、鈴木 知志¹、
掛地 吉弘¹
¹神戸大学大学院医学研究科外科学講座食道胃腸外科学分野
- P- 65 難治性白血病のエネルギー代謝特性を標的とした治療法の探索**
齋藤 祐介¹、木下 真理子¹、澤 大介¹、上村 幸代¹、山田 愛¹、森下 和広²、
曾我 朋義³、盛武 浩¹
¹ 宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座小児科学分野、
² 宮崎大学医学部機能制御学講座腫瘍生化学分野、³ 慶應義塾大学先端生命科学研究所

P- 66 アンチトロンピンは抗炎症作用を介して肝癌進展を制御する

沖本 将¹、田代 裕尊²、小林 剛¹、黒田 慎太郎¹、大段 秀樹¹
広島大学病院 消化器・移植外科¹、国立呉医療センター 外科²

P- 67 腫瘍浸潤マクロファージが膵癌における PD-L1 の発現を増強する

塚本 雅代、今井 克憲、石本 崇胤、菰原 義弘、梅崎 直紀、山尾 宣暢、
伊東山 瑠美、中尾 陽佑、遊佐 俊彦、宮田 辰徳、岡部 弘尚、中川 茂樹、
山下 洋市、近本 亮、石河 隆敏、馬場 秀夫
熊本大学大学院消化器外科学

P- 68 食道癌における栄養状態と腫瘍浸潤リンパ球の関連

岡留 一雄、馬場 祥史、八木 泰祐、清住 雄希、黒田 大介、澤山 浩、日吉 幸晴
岩槻 政晃、宮本 裕士、吉田 直矢、馬場 秀夫
熊本大学大学院 消化器外科学

P- 69 肝内胆管癌における術前炎症および栄養状態と予後との関連

山尾 宣暢、山下 洋市、宮田 辰徳、伊東山 瑠美、中尾 陽佑、遊佐 俊彦、
梅崎 直紀、塚本 雅代、北野 雄希、中川 茂樹、岡部 弘尚、今井 克憲、
新田 英利、近本 亮、石河 隆敏、馬場 秀夫
熊本大学大学院 消化器外科学

P- 70 胃癌細胞の低浸透圧下調節性容積減少に及ぼす温度の影響

満田 雅人¹、塩崎 敦¹、小菅 敏幸¹、工藤 道弘¹、山里 有三¹、庄田 勝俊¹、
有田 智洋¹、小西 博貴¹、森村 玲¹、村山 康利¹、栗生 宜明¹、生駒 久視¹、
窪田 健¹、中西 正芳¹、藤原 斉¹、岡本 和真¹、大辻 英吾¹
¹京都府立医科大学 外科学教室 消化器外科部門

P- 71 胃癌腹膜播種関連遺伝子として抽出した FGFR1 発現の意義

清水 大^{1, 3}、斎藤 衆子¹、伊藤 修平¹、増田 隆明¹、柳原 五吉²、小寺 泰弘³、
三森 功士¹

¹九州大学病院別府病院外科、²国立がん研究センター先端医療開発センターバイオマーカー探索 TR
分野、³名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学

P- 72 膵癌に対する術前化学療法におけるサルコペニアの意義

松木 裕輝¹、松山 隆生¹、中崎 佑介¹、佐原 康太¹、土屋 伸広¹、村上 崇¹、
藪下 泰宏¹、澤田 雄¹、熊本 宜文¹、遠藤 格¹
¹横浜市立大学附属病院 消化器・腫瘍外科学講座

- P-73 術前化学放射線治療を施行した食道癌患者の治療前栄養スコアの検討**
平島 忠寛¹、尾本 至¹、内門 泰斗¹、佐々木 健¹、奥村 浩¹、有上 貴明¹、
柳田 茂寛¹、大脇 哲洋²、前村 公成¹、夏越 祥次¹
¹ 鹿児島大学大学院消化器・乳腺甲状腺外科学、
² 鹿児島大学大学院地域医療学分野離島へき地医療人育成センター
- P-74 肝内胆管癌根治切除症例における周術期 CRP/Alb 比による予後予測に関する検討**
中尾 陽佑、山下 洋市、有馬 浩太、伊東山 瑠美、遊佐 俊彦、梅崎 直紀、
塚本 雅代、山尾 宣暢、北野 雄希、宮田 辰徳、中川 茂樹、今井 克憲、
新田 英利、近本 亮、石河 隆敏、馬場 秀夫
¹ 鹿児島大学大学院消化器・乳腺甲状腺外科学、
² 鹿児島大学大学院地域医療学分野離島へき地医療人育成センター
- P-75 シスプラチン耐性肝芽腫細胞株に高発現したトランスポーター遺伝子**
藤好 直、本多 昌平、湊 雅嗣、荒 桃子、宮城 久之、小林 希、武富 紹信
北海道大学大学院医学研究院 消化器外科学教室 I
- P-76 大腸腫瘍手術における ICG 蛍光法による術中イメージング用いた Navigation Surgery の実際**
瀬戸山 徹郎¹、石神 純也¹、恵 浩一¹、保坂 優斗¹、安留 龍太郎¹、奥村 浩²、
前之原 茂穂²、夏越 祥次³
¹ 鹿児島県立大島病院 外科、² 鹿児島厚生連病院 外科、³ 鹿児島大学消化器・乳腺甲状腺外科学
- P-77 大腸癌における活性酸素種低発現細胞の機能解析と特異的マーカーの同定**
原口 直紹、高橋 秀和、三吉 範克、畑 泰司、松田 宙、水島 恒和、土岐 祐一郎、
森 正樹
大阪大学大学院 外科学講座消化器外科学
- P-78 乳癌における GCNT2 遺伝子メチル化の臨床的意義**
田中 蓉子¹、山下 継史^{1,2}、原田 宏輝¹、横田 和子¹、菊池 真理子³、小坂 愉賢³、
加藤 弘³、仙石 紀彦³、渡邊 昌彦⁴
¹ 北里大学大学院医療系研究科外科学、² 北里大学医学部新世紀医療開発センター外科腫瘍腫瘍学、
³ 北里大学病院乳腺・甲状腺外科、⁴ 北里大学医学部外科学
- P-79 化合物ライブラリーを用いた抗癌剤耐性 ABC トランスポーター抑制剤の同定**
大沼 忍¹、杉沢 徳彦¹、石田 晶玄¹、鈴木 秀幸¹、井本 博文¹、山村 明寛¹、
唐澤 秀明¹、神山 篤史¹、青木 豪¹、渡辺 和宏¹、田中 直樹¹、武者 宏昭¹、
元井 冬彦¹、亀井 尚¹、内藤 剛¹、海野 倫明¹
¹ 東北大学大学院消化器外科学

P- 80 HER2 高発現食道扁平上皮癌細胞における FP 療法及び Trastuzumab の併用による抗腫瘍効果の増強作用の検証と効果予測因子 Foxo3a の役割

福田 和正^{1,2}、高橋 剛志³、川久保 博文¹、北川 雄光¹

¹慶應義塾大学医学部外科学教室（一般・消化器）、²慶應義塾大学医学部癌基盤研究寄附講座、³稲城市立病院外科

P- 81 大腸癌と癌化における HOPX β 遺伝子のプロモーターDNA メチル化の臨床的意義

横田 和子¹、山下 継史²、田中 蓉子¹、原田 宏輝¹、大泉 陽介¹、小嶋 慶太¹、

加藤 弘³、渡邊 昌彦⁴

¹北里大学大学院医学系研究科外科学、²北里大学医学部新世紀医療開発センター外科腫瘍学、³北里大学病院乳腺甲状腺外科、⁴北里大学医学部外科学

P- 82 術前化学放射線療法が著効した進行胃癌の一例

安留 龍太郎¹、石神 純也¹、瀬戸山 徹郎¹、恵 浩一¹、保坂 優斗¹、夏越 祥次²

¹鹿児島県立大島病院 外科、²鹿児島大学消化器・乳腺甲状腺外科学

P- 83 Colitis Associated Cancer における Sirtuin の発現解析

山本 真義¹、阪田 麻裕¹、上嶋 徳¹、川村 崇文¹、鈴木 雄飛¹、鈴木 克徳¹、赤井 俊也¹、森田 剛文¹、菊池 寛利¹、坂口 孝宣¹、倉地 清隆¹、竹内 裕也¹

¹浜松医科大学 第二外科

P- 84 *In vivo* エレクトロポレーションを用いたマウス発がんモデルならびに簡便な遺伝子改変マウス作製法の開発

大西 伸幸¹、大塚 正人²、佐藤 正宏³、佐谷 秀行¹

¹慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 遺伝子制御研究部門、²東海大学医学部 基礎医学系 分子生命科学、³鹿児島大学 総合科学域総合研究学系 研究推進機構 医用ミニブタ・先端医療開発研究センター 遺伝子発現制御分野

P- 85 StageIV 大腸癌における原発巣切除とリンパ節郭清の意義

大熊 誠尚、佐々木 茂真、武田 泰裕、谷田部 沙織、伊藤 大介、野秋 朗多、小菅 誠、衛藤 謙、矢永 勝彦

東京慈恵会医科大学外科

P- 86 A distinct function of the retinoblastoma protein in the control of lipid composition identified by lipidomic profiling

Hayato Muranaka¹, Akio Hayashi², Keiichi Minami³, Shunsuke Kitajima^{1,4}, Susumu Kohno¹, Yuuki Nishimoto¹, Naoko Nagatani¹, Misa Suzuki¹, Nilakshi Kulathunga¹, Nobunari Sasaki^{1,5}, Nobuhiro Okada¹, Takashi Matsuzaka⁶, Hitoshi Shimano⁶, Hideaki Tada⁷, Chiaki Takahashi¹

¹Division of Oncology and Molecular Biology, Cancer Research Institute, Kanazawa University, ²Exploratory Research Laboratories, Minase Research Institute, Ono Pharmaceutical Co., Ltd, ³Advanced Medical Research Laboratories, Ono Pharmaceutical Co., Ltd, ⁴Department of Medical Oncology, Dana-Farber Cancer Institute, ⁵Department of Clinical Pharmacokinetics and Pharmacodynamics, School of Medicine, Keio University, ⁶Department of Endocrinology and Metabolism, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, ⁷Oncology Research and Development Center, Minase Research Institute, Ono Pharmaceutical Co., Ltd

協賛・企業展示・広告掲載 企業・団体一覧

(50音順)

コヴィディエンジャパン株式会社

株式会社島津テクノロジー

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

大鵬薬品工業株式会社

武田薬品工業株式会社

中外製薬株式会社

ナカライテスク株式会社

日本イーライリリー株式会社

ミヤリサン製薬株式会社

株式会社ヤクルト本社

株式会社ロジックバイオ

本大会の開催にあたり、皆様より多数のご協力を賜りました。
ここに深甚なる感謝の意を表します。

第6回がんと代謝研究会 in 奄美大島
実行委員長 森 正樹